

第8回日本外科代謝栄養学会教育セミナー

☆ 医師、研修医、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、学生、研究者ほか代謝栄養学を知っておくべき全ての人達のための臨床栄養セミナー☆

日常の診療にあたり知っておくべき臨床栄養の基本事項を解説します。さらに応用編として、様々な病態における代謝栄養学の最新の知見を紹介します。明日からの診療や知識の向上に役立つこと間違いなし！ですので、若手医師だけでなく職種を問わず、多くのメディカルスタッフの参加をお待ちしております。

全員に受講証を発行する予定です。NST チーム医療加算に関連する「10 時間程度の栄養の研修を受けた医師」の資格を、医師が本セミナーを2 回受講すればとれるように、約5 時間の研修にしています。

記

日時：平成25年12月21日（土）13：15-18：30

場所：東京医科歯科大学 3号館 18階 保健衛生学科講義室1

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

参加費：1,000 円(テキスト代含む、学生は全員無料) 定員：150 名予定

当日の参加申し込みも可能ですが、準備の都合上事前登録いただけると幸甚です。参加希望者は、第8回外科代謝栄養学会教育セミナー参加希望と明記し、所属、お名前、連絡先、参加人数を列記して、メールにて、丸山道生(mm.com@ohkubohospital.jp)までお申し込みください。

プログラム

Part I：日常臨床における栄養療法を理解しよう(13:15-15:40)

○栄養評価、プランニング、NSTの視点から

鍋谷圭宏（千葉県がんセンター 消化器外科）

○経腸栄養vs静脈栄養、エビデンスに基づいて

深柄和彦（東京大学病院 手術部）

○周術期の栄養管理、ERAS, ESSENSE を学ぶ

鷲沢尚宏（東邦大学大森医療センター、外科・NST）

Part II：より安全に最適な栄養管理を行うために(16:00-18:30)

○経腸栄養アクセスルート、実践で取り組む

丸山道生（東京都保健医療公社大久保病院 外科）

○エネルギー基質の代謝、病態による変化を捉える

桜井洋一（和洋女子大学家政学群

健康栄養学類人間栄養学研究室）

○重症患者の栄養管理、最近のトピックス

織田成人（千葉大学 救急集中治療学）

